



WWF® for a living planet®

# JBIC/NEXI の環境社会配慮ガイドラインへの のWWFコメントに関する背景説明

第4回JBIC/NEXI 環境社会ガイドライン改定コンサルテーション

2008年4月7日

WWF メコンプログラム

安田由美子





*for a living planet*<sup>®</sup>

## プレゼンテーションの概要

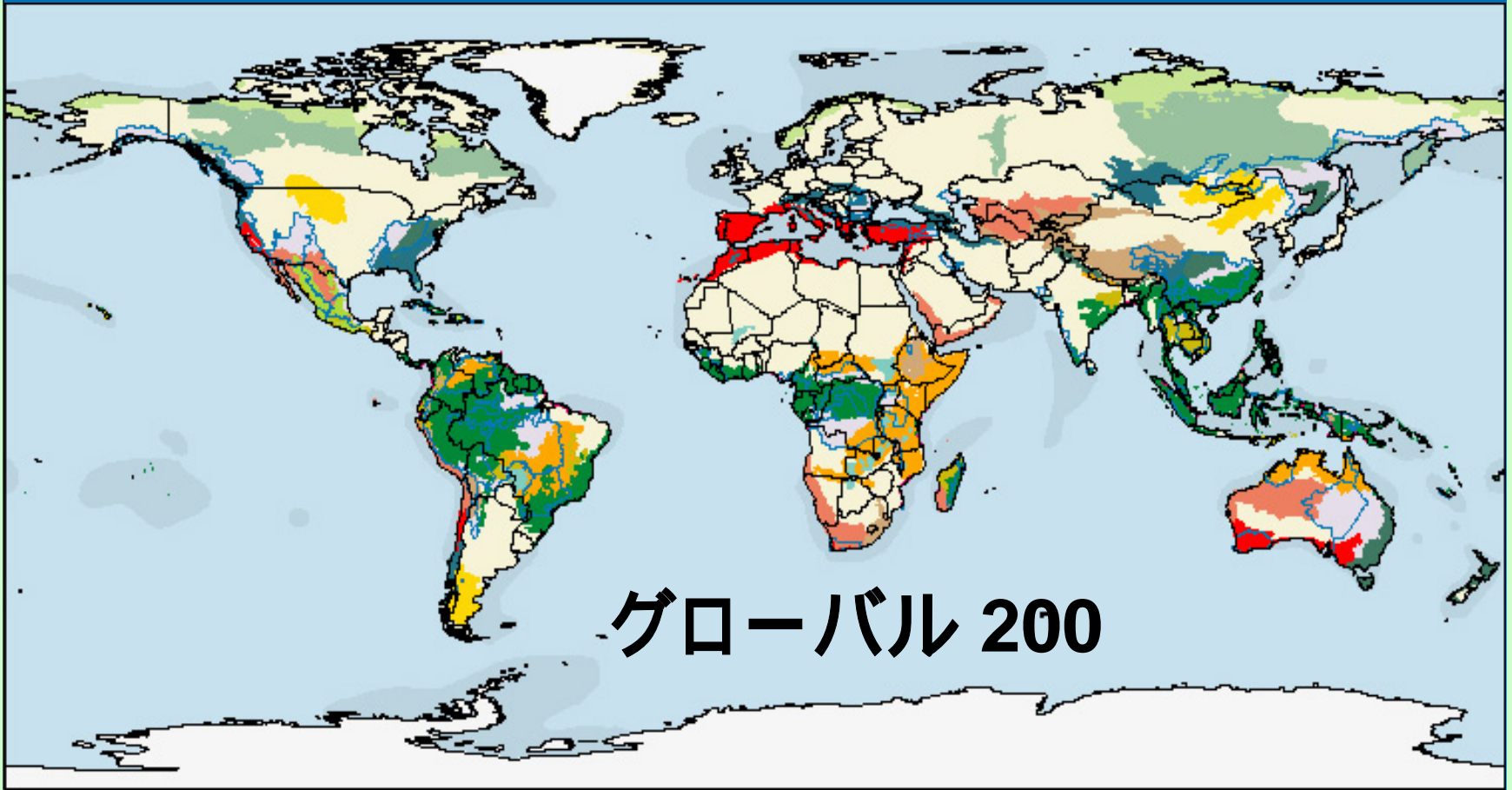
1. WWFメコンプログラムよりガイドランへのコメントを提出した背景
2. WWFのコメントのアプローチ
3. コメントの主な背景



# WWF'の世界的な環境保全に対するアプローチ

**エコリジョン：**

世界の中で貴重な種を含む、環境保全にとって重要な地域(陸地及び水環境)





WWF

for a living planet®

## メコン地域

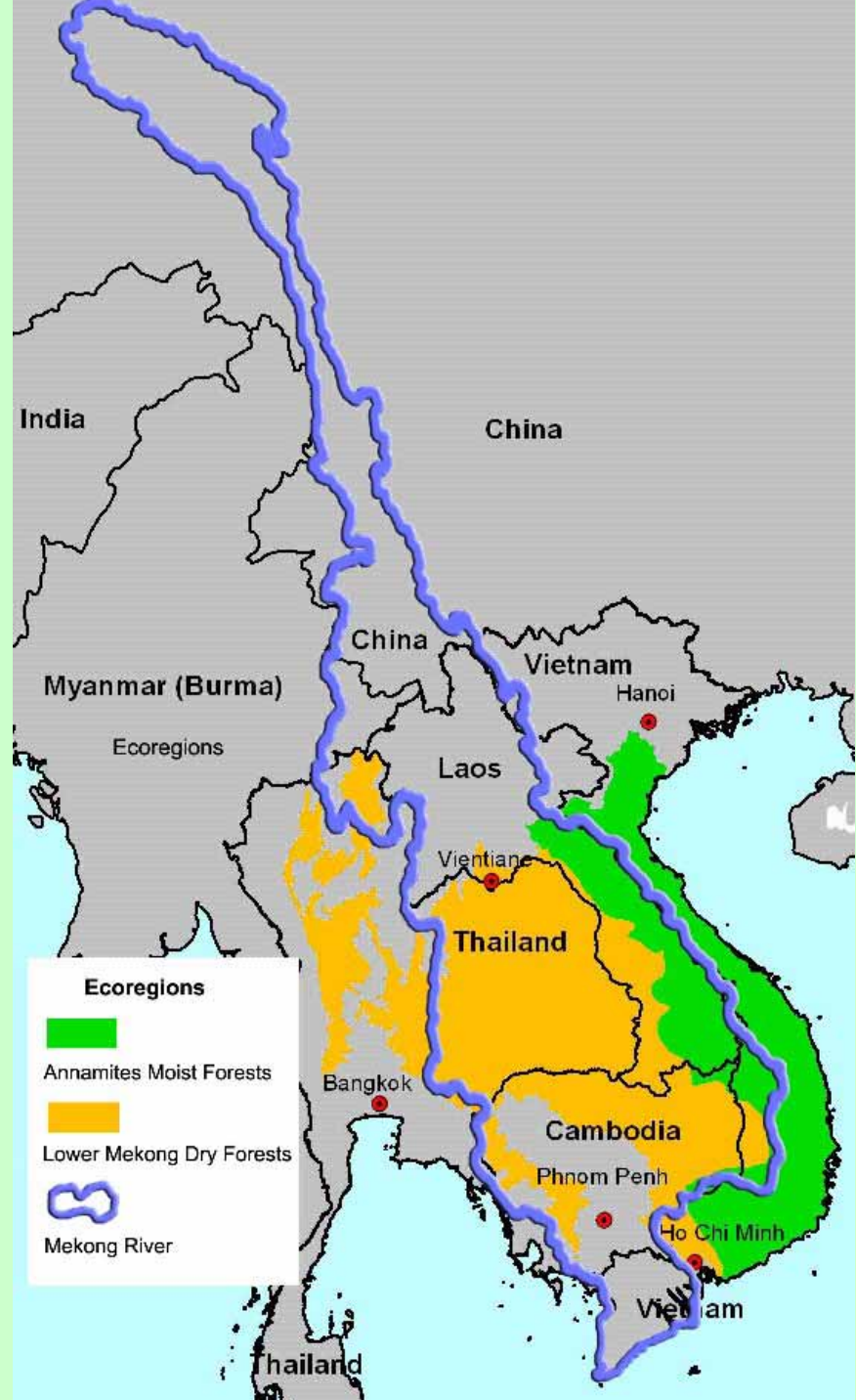
6カ国：中国、ミャンマー、  
ラオス、カンボジア、ベトナム、タイ

3つのエコリージョン

アンナン山脈

メコン川

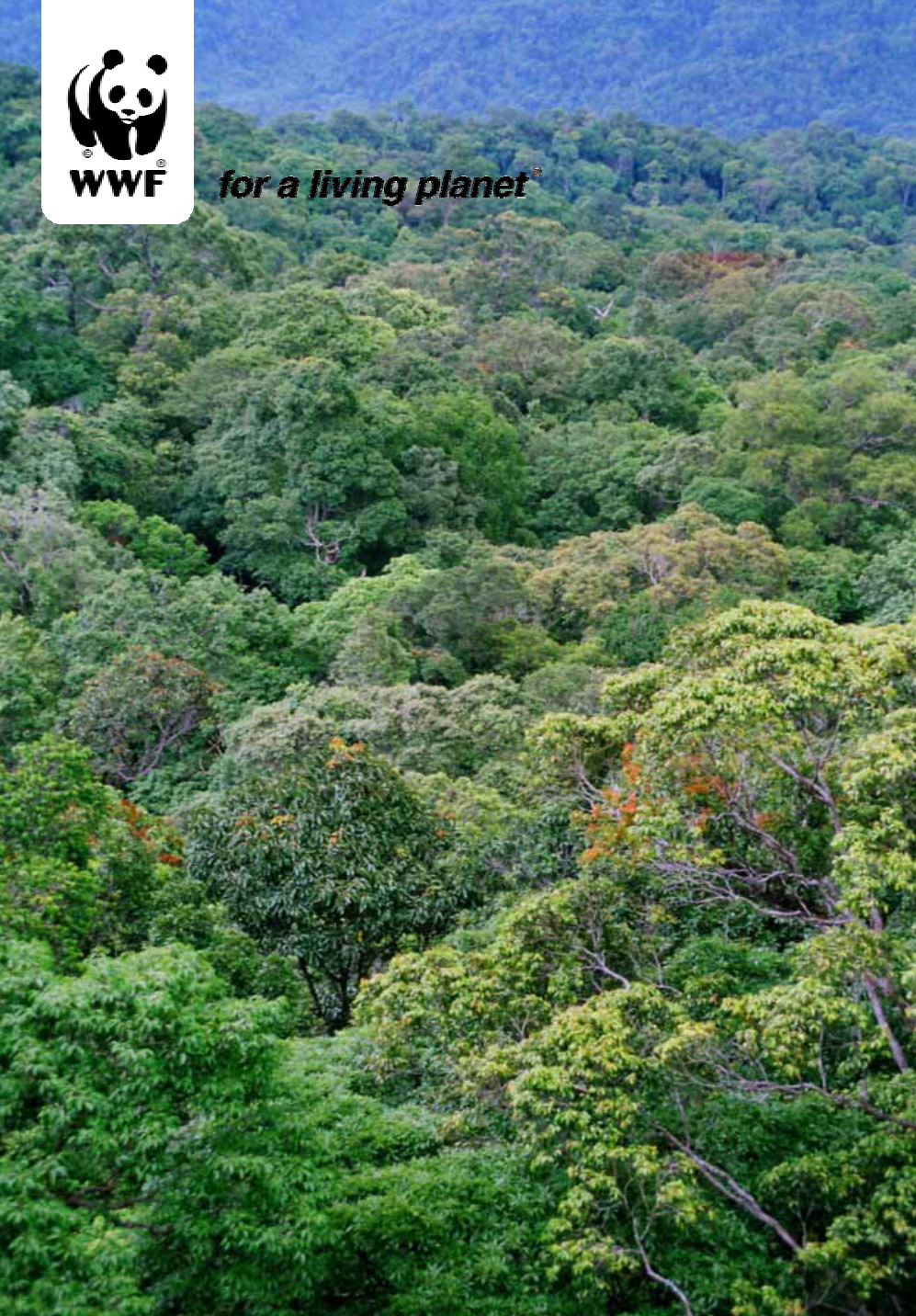
メコン下流域乾燥林





WWF®

for a living planet®



# アンナン山脈





WWF® *for a living planet*®

## 乾燥林



アジア象：重要な生息地



Eld's Deer: 乾燥林特有の動物

# メコン川





WWF

for a living planet®

# メコン地域の生態系に影響を与えている主要因

インフラ整備：道路・ダム開発







WWF®

*for a living planet*

## 天然資源採取：鉍物資源·木材資源



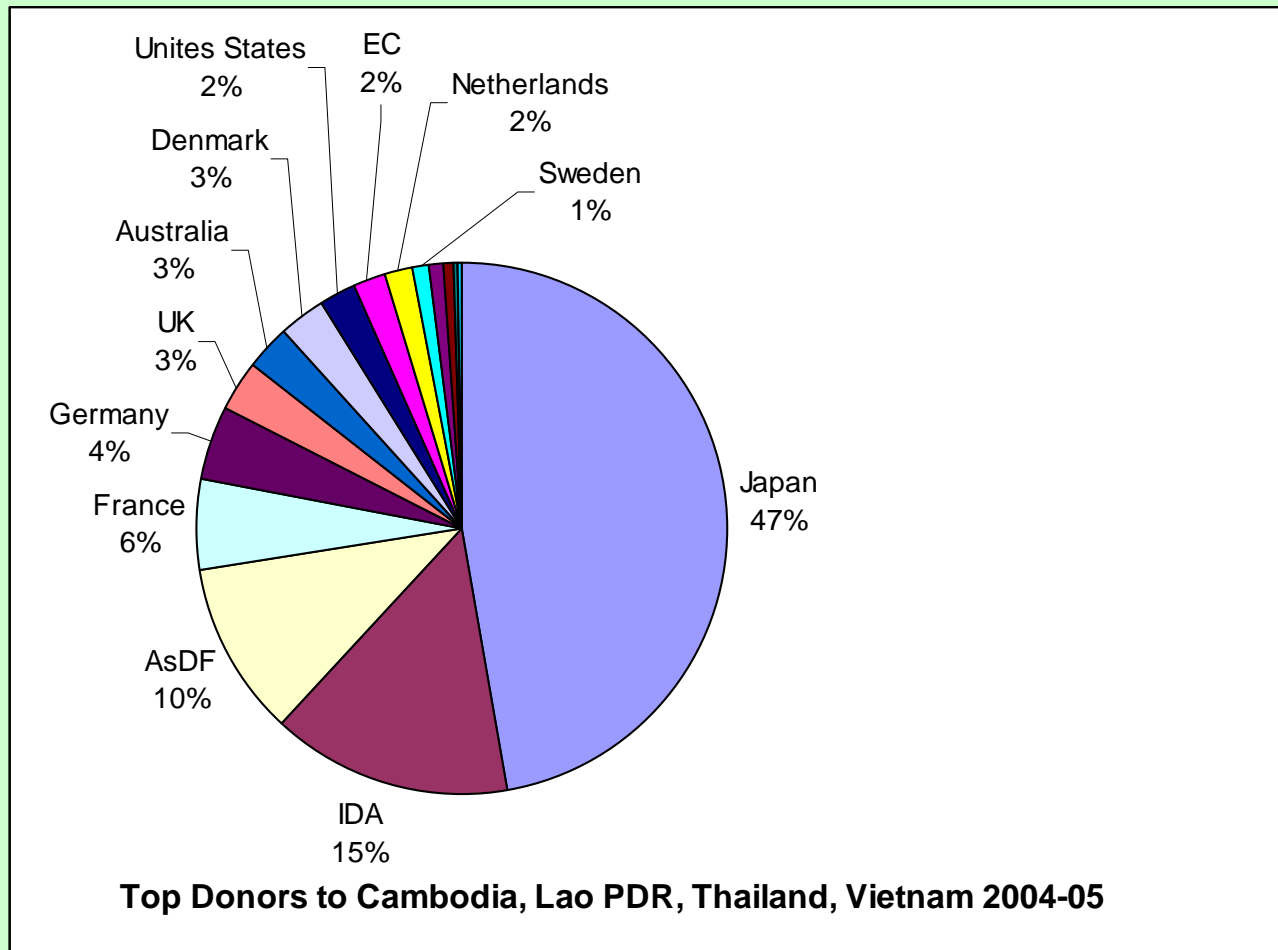


*for a living planet*

# 大規模プランテーション: ゴム・サトウキビ・ ユーカリ・キャッサバ



# メコン地域への国別援助額





## 2. WWFのコメントのアプローチ

- いかにして環境と開発の調和を図ることが可能か模索.
- 企業の投資によるリスクの低減

### 環境配慮の重要性

- CSR (Corporate Social Responsibility) の観点
  - リスクマネジメント: 資金的なダメージを低減
- 批判ではなく、多様なステークホルダーを含めた協力及びコンセンサス作りによる建設的な解決方法の模索





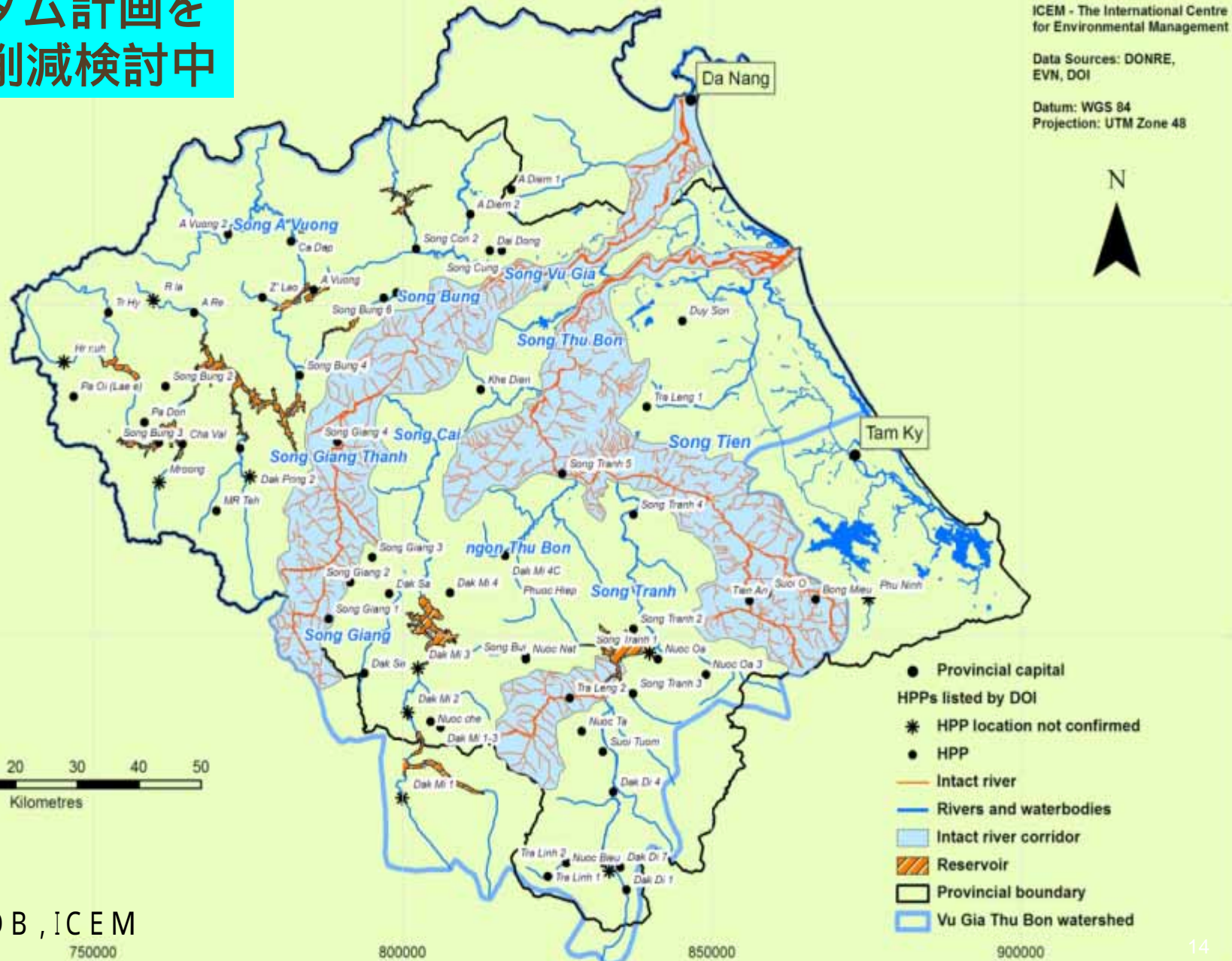
### 3.コメントの主な背景

- WWFのコメントは、5つの分野に関連している
  - SEA(戦略的環境アセスメント)に関するコメント
  - フレームワーク、ツール、及びスタンダード作りへの協力に関する提案
  - 業種別のスタンダードに関するコメント
  - 相手国の環境基準に関するコメント
  - 現場でのトレーニング等の協力に関する提案



# SEAの適用により、既存ダム計画の見直しを検討中の事例

約40のダム計画を  
1 - 2割削減検討中



資料提供: ADB, ICEM



# 事例: 持続可能な水力発電への環境基準づくり

## Environmental Criteria for Sustainable Hydropower Development (ECSHD)

- ECSHDの目的は、現地の状況に適して、持続可能な水力発電を目指した基準・ツール作り、及びコンセンサス形成
- 主体:メコン河委員会、アジア開発銀行、WWF
- 初期段階(完了):世界に存在する持続可能な水力発電の基準や、例などを集めたレビュー。(レポート有)
- ECSHD本段階:すべてのステークホルダーを含め、環境基準・ツール作りを行っていくコンセンサス形成のプロセス。具体的なステップとして;
  - ステークホルダーの分析
  - メコン地域内での環境プランニングプロセス、水力発電のSEAに関するアセスメント及びそこから得られた課題の洗い出し
  - 水力発電計画のインベントリー作成
  - 水力発電開発に伴う環境・生態系への影響を緩和する方策及びその資金源
  - 環境基準・ツールの形成及びドラフト版の発表
- 環境基準・ツールの各国でのレビュー及び法制化





*for a living planet*<sup>®</sup>

## 業種別のスタンダードに関するコメントの背景





# 洪水と共存できる道路開発基準

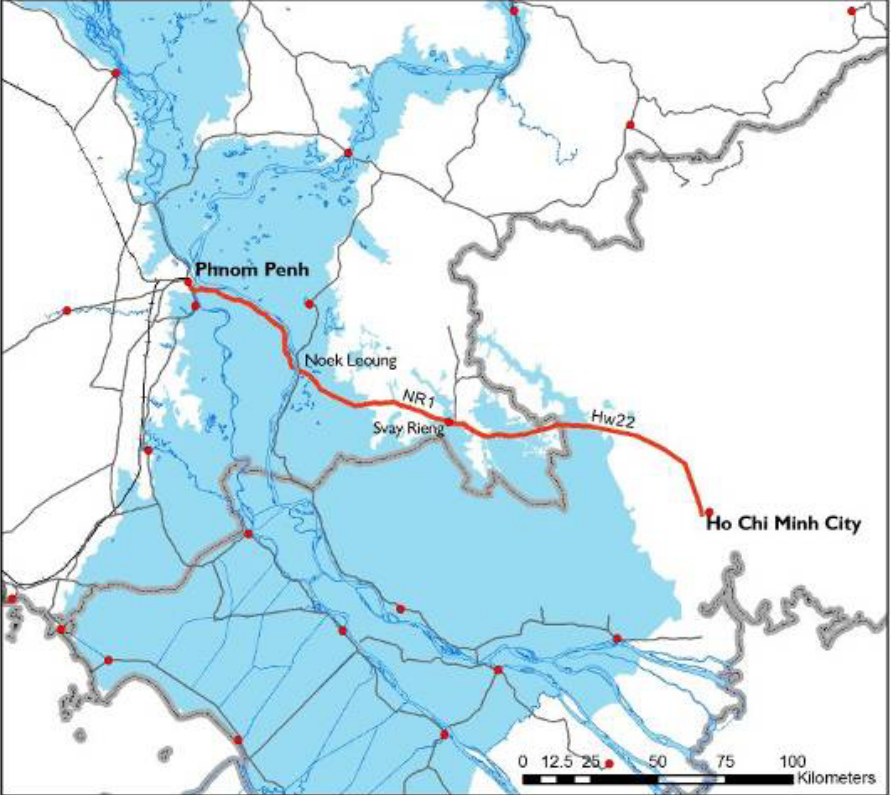
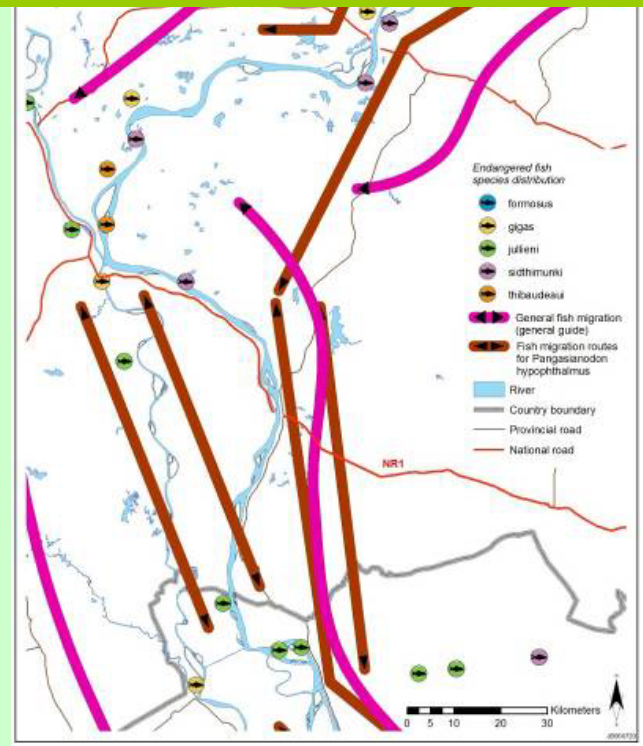


Figure 3-1. National Road 1 - Highway 22 in the Mekong floodplains (with maximum flood).



Source: MRCS Database and MRC Interactive Atlas.



# 相手国の環境基準に関するコメントの背景



# 現場でのトレーニング等の協力に関する提案の背景



## WWFのコメントに関するお問い合わせ先

メコンプログラムに関する情報は、下記のウェブをご参照ください

[www.panda.org/greatermekong](http://www.panda.org/greatermekong)

ご質問は下記の担当者にご連絡ください

担当: WWFメコンプログラム 安田由美子

メール: [yumiko.yasuda@wwfgreatermekong.org](mailto:yumiko.yasuda@wwfgreatermekong.org)

